

2011年12月期 決算説明会



2012年2月22日
中央化学株式会社
(JASDAQ スタンド:7895)

I) 2011年12月期 決算実績

II) 2012年12月期 決算見通し

III) 今後の展望

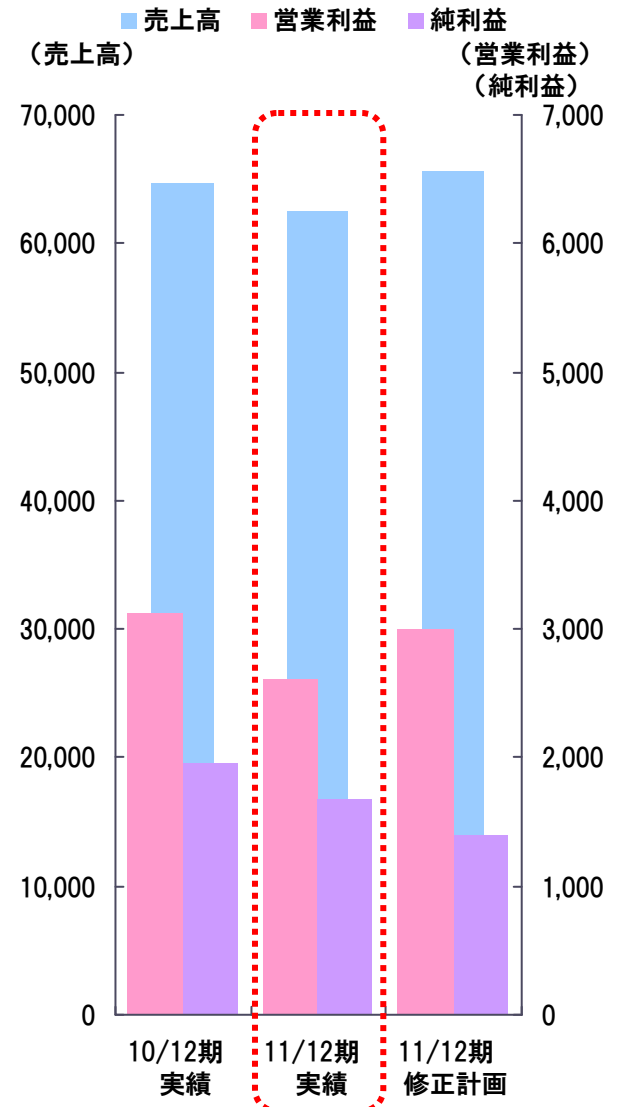
(I) 2011年12月期 決算実績

 中央化学株式会社

11/12期決算の実績

(単位:百万円)

	10/12期	11/12期			
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比	7/28発表 修正計画 (構成比)	達成率
売上高	64,699 (100%)	62,480 (100%)	△3.4%	65,600 (100%)	95.2%
売上 総利益	15,085 (23.3%)	14,060 (22.5%)	△6.8%	15,100 (23.0%)	93.1%
営業利益	3,129 (4.8%)	2,610 (4.2%)	△16.6%	3,000 (4.6%)	87.0%
経常利益	2,391 (3.7%)	2,321 (3.7%)	△2.9%	2,200 (3.4%)	105.5%
当期 純利益	1,961 (3.0%)	1,686 (2.7%)	△14.0%	1,400 (2.1%)	120.4%



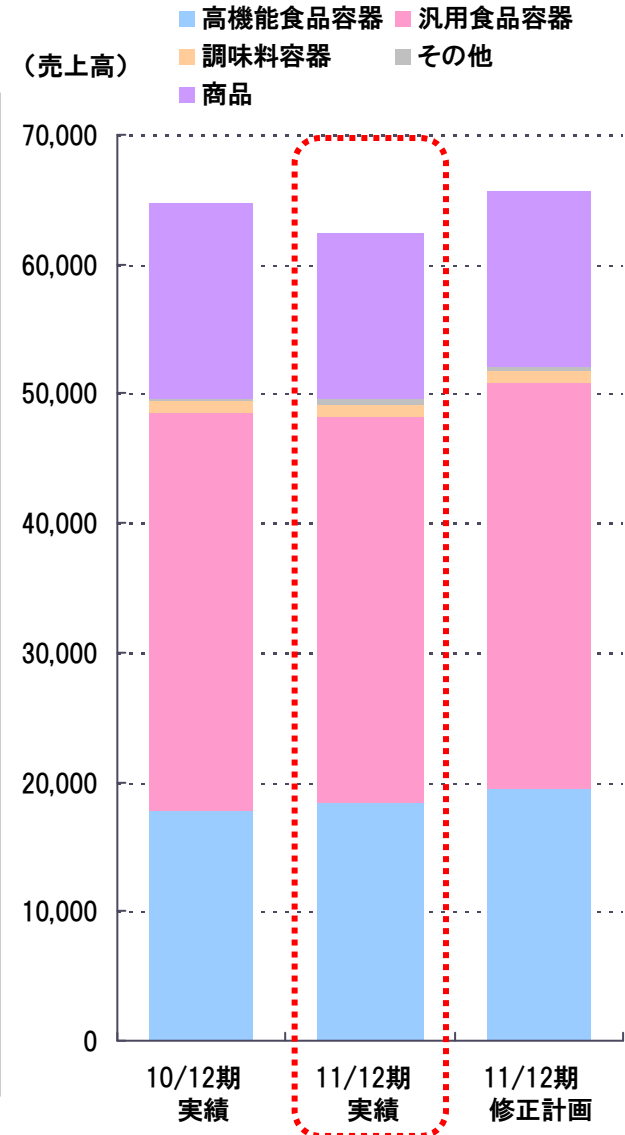
※ 連結子会社であった中国子会社の重慶中央化学有限公司は2010年9月に清算終了したことにより、清算終了時点までの損益計算書のみ連結しております。

売上高の種類別内訳

中央化学株式会社 5

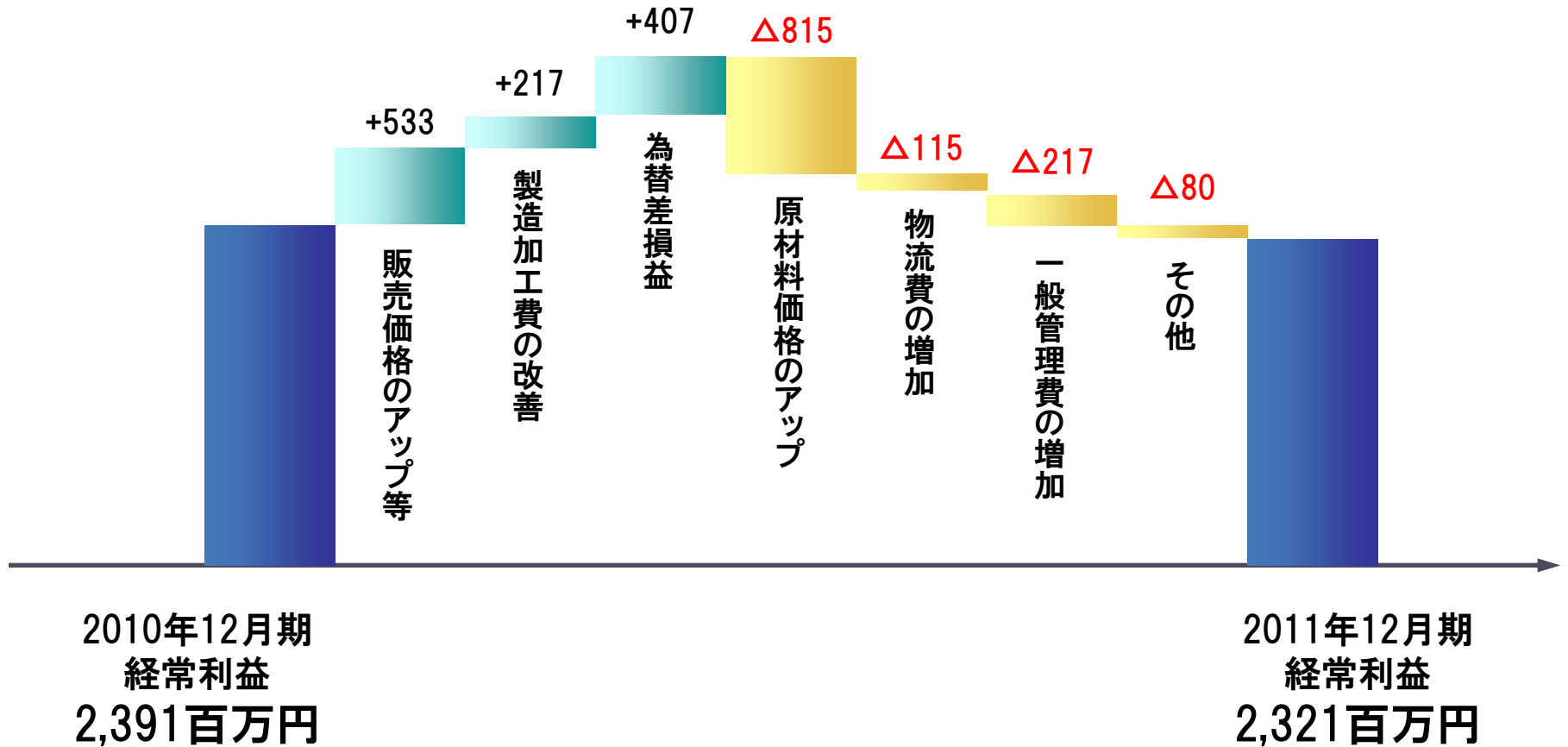
(単位:百万円)

	10/12期	11/12期			
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	前期比	修正計画 (構成比)	達成率
製 品	49,533 (76.6%)	49,544 (79.3%)	0.0%	52,000 (79.3%)	95.3%
高機能食品容器	17,744 (27.4%)	18,358 (29.4%)	3.5%	19,500 (29.7%)	94.1%
汎用食品容器	30,734 (47.5%)	29,866 (47.8%)	△2.8%	31,300 (47.7%)	95.4%
調味料容器	894 (1.4%)	891 (1.4%)	△0.3%	900 (1.4%)	99.0%
その他	160 (0.2%)	429 (0.7%)	168.1%	300 (0.5%)	143.0%
商 品	15,166 (23.4%)	12,936 (20.7%)	△14.7%	13,600 (20.7%)	95.1%
売 上 高	64,699 (100%)	62,480 (100%)	△3.4%	65,600 (100%)	95.2%



経常利益の増減分析

(単位:百万円)



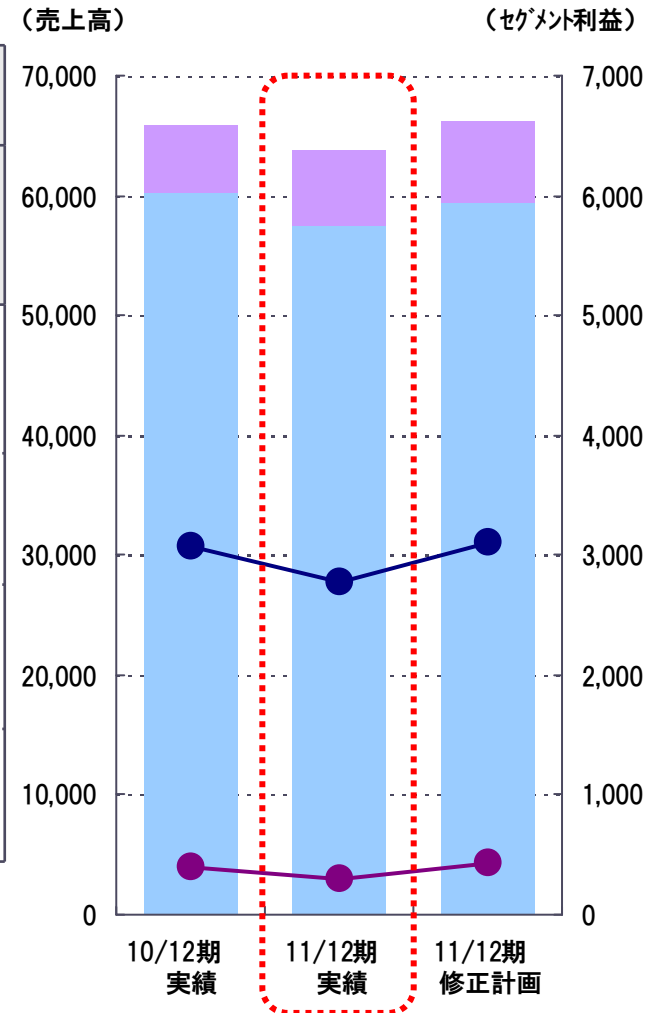
報告セグメントの売上高と利益

中央化学株式会社 7

(単位:百万円)

		10/12期	11/12期			
		実績	実績	前期比	修正計画	達成率
日本	売上高	60,239	57,443	△4.6%	59,400	96.7%
	セグメント利益	3,069	2,769	△9.8%	3,100	89.3%
アジア	売上高	5,704	6,260	9.7%	6,800	92.1%
	セグメント利益	394	303	△23.1%	430	70.5%

■ 日本売上高 ■ アジア売上高
● 日本セグメント利益 ● アジアセグメント利益



※ セグメント利益(営業利益)

※ アジアの外部顧客に対する現地通貨ベース売上高でみると前期比.12.0%の増収
(10/12期370百万円、11/12期415百万円)

東日本大震災による災害損失

3月11日(金)に発生した 東日本大震災に伴う災害損失を 「特別損失」に計上

(単位:百万円)

① 原状回復費用等 ※	295
② 操業休止期間中の固定費額	261
③ 設備移設費用	51
④ 棚卸資産評価損、その他	59
計	667

※ 内、災害損失引当金繰入額:91百万円

貸借対照表の実績

中央化学株式会社 9
(単位:百万円)

	10/12期	11/12期	増減額	主な増減要因
流動資産	28,115	30,801	2,686	
現金及び預金	6,100	7,902	1,802	
受取手形及び売掛金	12,801	13,111	310	受取手形394
商品及び製品	5,510	5,310	△200	製品在庫減
固定資産	22,200	20,544	△1,656	
有形固定資産	18,376	17,992	△384	設備投資2,108、償却△2,070、 除売却△329、減損△100
(リース資産・純額)	(2,216)	(2,700)	(484)	
無形固定資産	426	395	△31	
投資その他の資産	3,397	2,157	△1,240	ゴルフ関連債権△9,866、 ゴルフ関連引当8,694
資産合計	50,315	51,345	1,030	
負債合計	37,102	36,438	△664	
有利子負債残高	18,198	16,303	△1,895	借入金返済
(リース債務)	(2,407)	(2,909)	(502)	
純資産合計	13,212	14,907	1,695	(自己資本比率:26.3%⇒29.0%)
負債純資産合計	50,315	51,345	1,030	

キャッシュフローの実績

(単位:百万円)

	10/12期	11/12期	11/12期の主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	2,828	3,520	売上債権増加349、税金等調整前当期純利益1,694、減価償却費2,128
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,300	934	固定資産の取得724、破産更生債権等の回収による収入1,428
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,529	△2,603	短期借入金減少1,310、リース債務返済719、長期借入金返済572
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△319	△49	
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,321	1,802	
現金及び現金同等物の 期首残高	7,422	6,100	
現金及び現金同等物の 期末残高	6,100	7,902	

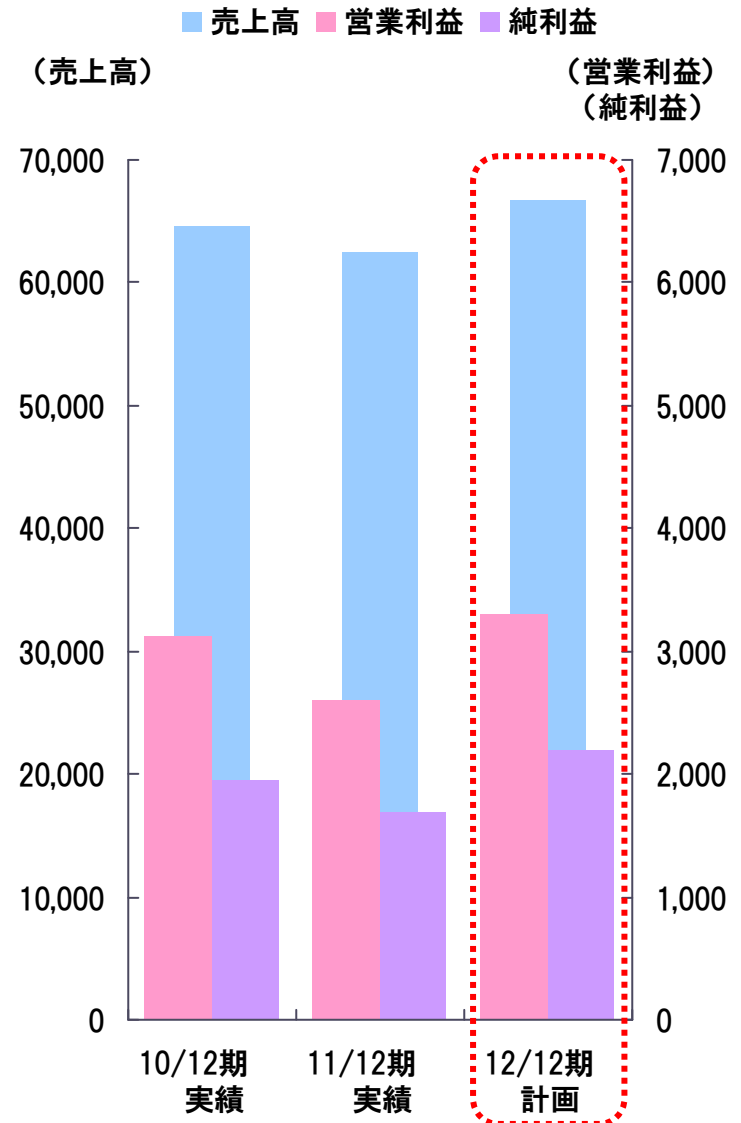
(Ⅱ) 2012年12月期 決算見通し

 中央化学株式会社

12/12期決算の見通し

(単位:百万円)

	10/12期	11/12期	12/12期	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	計画 (構成比)	前期比
売上高	64,699 (100%)	62,480 (100%)	66,800 (100%)	6.9%
売上総利益	15,085 (23.3%)	14,060 (22.5%)	16,012 (24.0%)	13.9%
営業利益	3,129 (4.8%)	2,610 (4.2%)	3,300 (4.9%)	26.4%
経常利益	2,391 (3.7%)	2,321 (3.7%)	2,700 (4.0%)	16.3%
当期純利益	1,961 (3.0%)	1,686 (2.7%)	2,200 (3.3%)	30.5%



※ 連結子会社であった中国子会社の重慶中央化学有限公司は2010年9月に清算終了したことにより、清算終了時点までの損益計算書のみ連結しております。

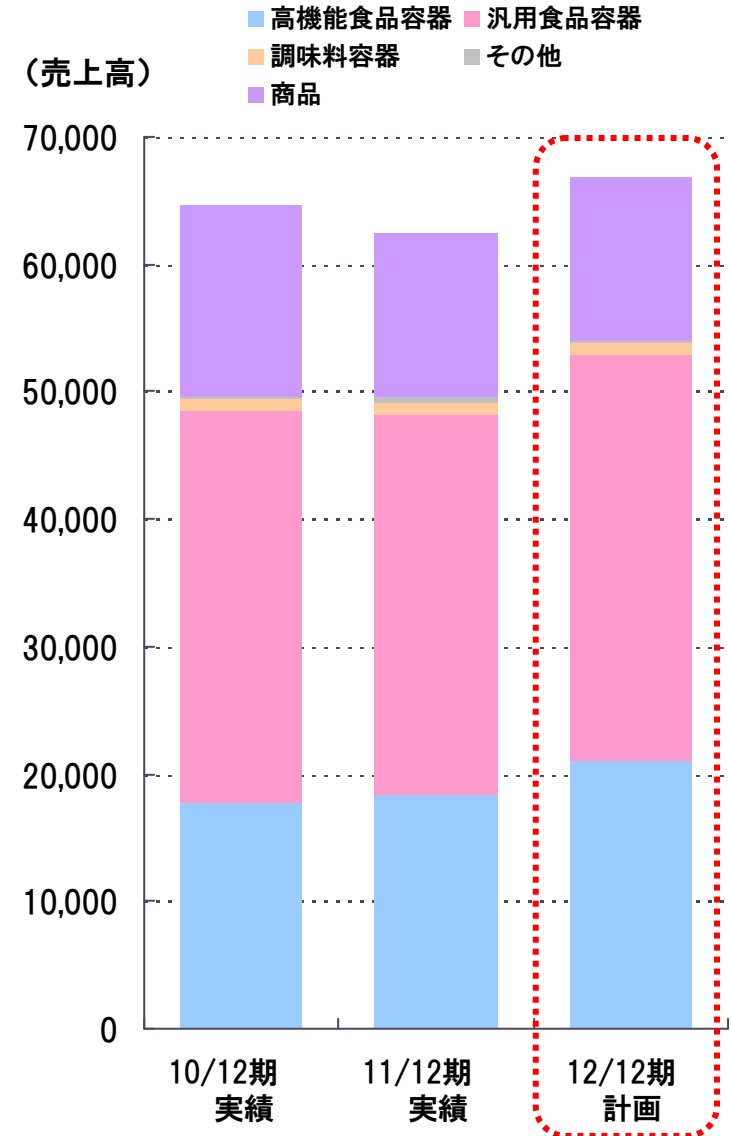
売上高の種類別内訳

中央化学株式会社 13

(単位:百万円)

	10/12期	11/12期	12/12期	
	実績 (構成比)	実績 (構成比)	計画 (構成比)	前期比
製 品	49,533 (76.6%)	49,544 (79.3%)	54,000 (80.8%)	9.0%
高機能食品容器	17,744 (27.4%)	18,358 (29.4%)	21,100 (31.6%)	14.9%
汎用食品容器	30,734 (47.5%)	29,866 (47.8%)	31,850 (47.7%)	6.6%
調味料容器	894 (1.4%)	891 (1.4%)	900 (1.3%)	1.0%
その他	160 (0.2%)	429 (0.7%)	150 (0.2%)	△65.0%
商 品	15,166 (23.4%)	12,936 (20.7%)	12,800 (19.2%)	△1.1%
売 上 高	64,699 (100%)	62,480 (100%)	66,800 (100%)	6.9%

(売上高)



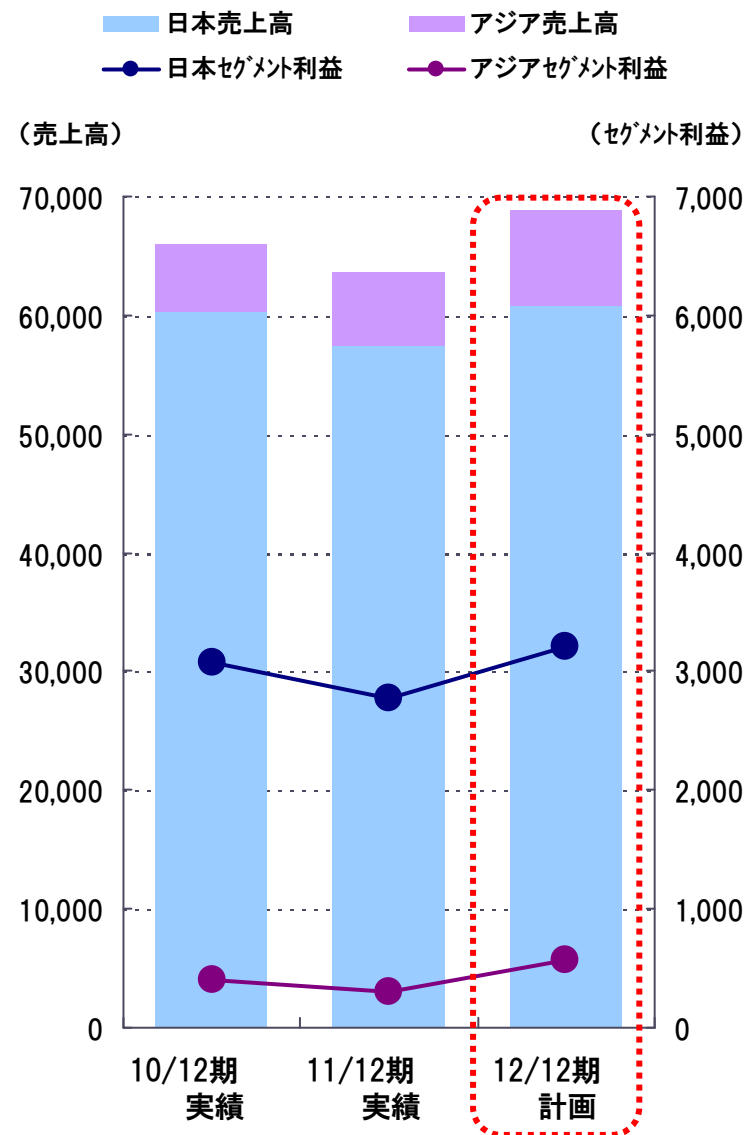
報告セグメントの売上と利益

中央化学株式会社 14

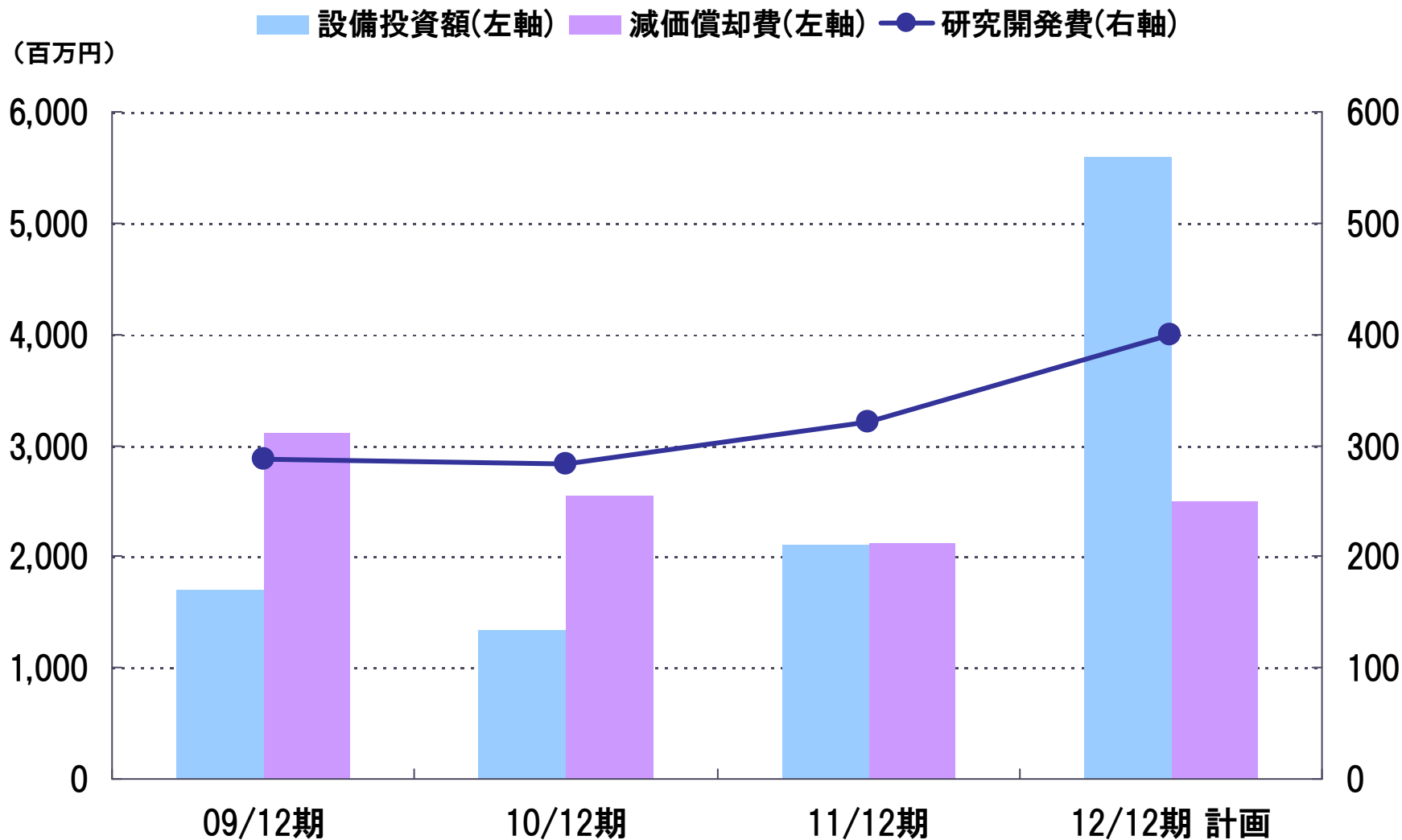
(単位:百万円)

		10/12期	11/12期	12/12計画	
		実績	実績	計画	前期比
日本	売上高	60,239	57,443	60,800	5.8%
	セグメント利益	3,069	2,769	3,200	15.6%
アジア	売上高	5,704	6,260	8,015	28.0%
	セグメント利益	394	303	570	88.1%

※ セグメント利益(営業利益)



設備投資、減価償却及び研究開発の状況



(Ⅲ) 今後の展望

 中央化学株式会社

今後の展望

1.	三菱商事(株)による公開買付けについて
2.	2011年2月発表の中期経営方針
3.	事業環境認識(従来)
	〃 (最近)
4.	中期の経営方針(日本)
5.	2012年の経営戦略(日本)
6.	経営施策(日本) ①新市場の創造と新規顧客の開拓
	〃 ②売上拡大への支援体制の整備
	〃 ③TOBによるシナジー効果の追求
7.	中期の経営方針(中国)
8.	2012年の経営戦略(中国)
9.	経営施策(中国) ①新しい統括体制の確立
	〃 ②生産供給体制の整備
	〃 ③売上拡大による増収増益の追求

1. 三菱商事(株)による公開買付けについて

背景

- ①不安定な経営基盤
- ②経営資源(ヒト・モノ・カネ)の決定的な不足

条件

- ①社名の存続
- ②JASDAQ市場での上場維持

TOB終了後の姿

- ①株式所有割合:55.62%(除:自己株)
- ②三菱商事の連結子会社

1. 三菱商事(株)による公開買付けについて

目的

持続的な発展と企業価値の向上

三菱商事の
経営資源
を活用

・ヒト ⇒ 経営基盤の整備

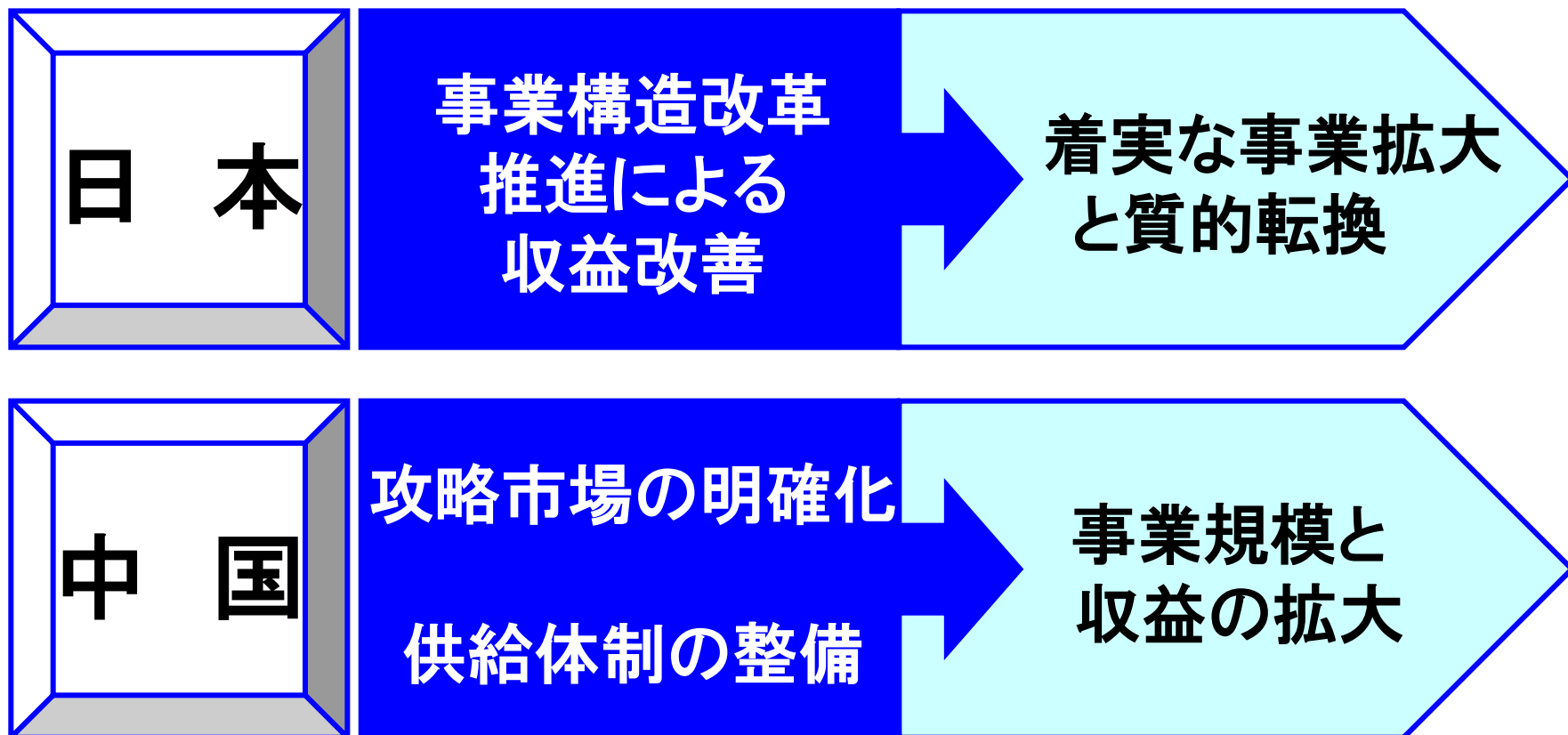
・モノ ⇒ グローバルネットワーク

・カネ ⇒ 社会的な信用力向上

TOBにより経営改革を加速

2. 2011年2月発表の中期経営方針

“日本一の食品包装容器メーカー”の再興に向けた基礎固め



3. 事業環境認識(従来)

日本

一般消費市場は
縮小傾向

- ・少子高齢化の進展
- ・デフレ社会の継続
- ・同業他社との競争
激化

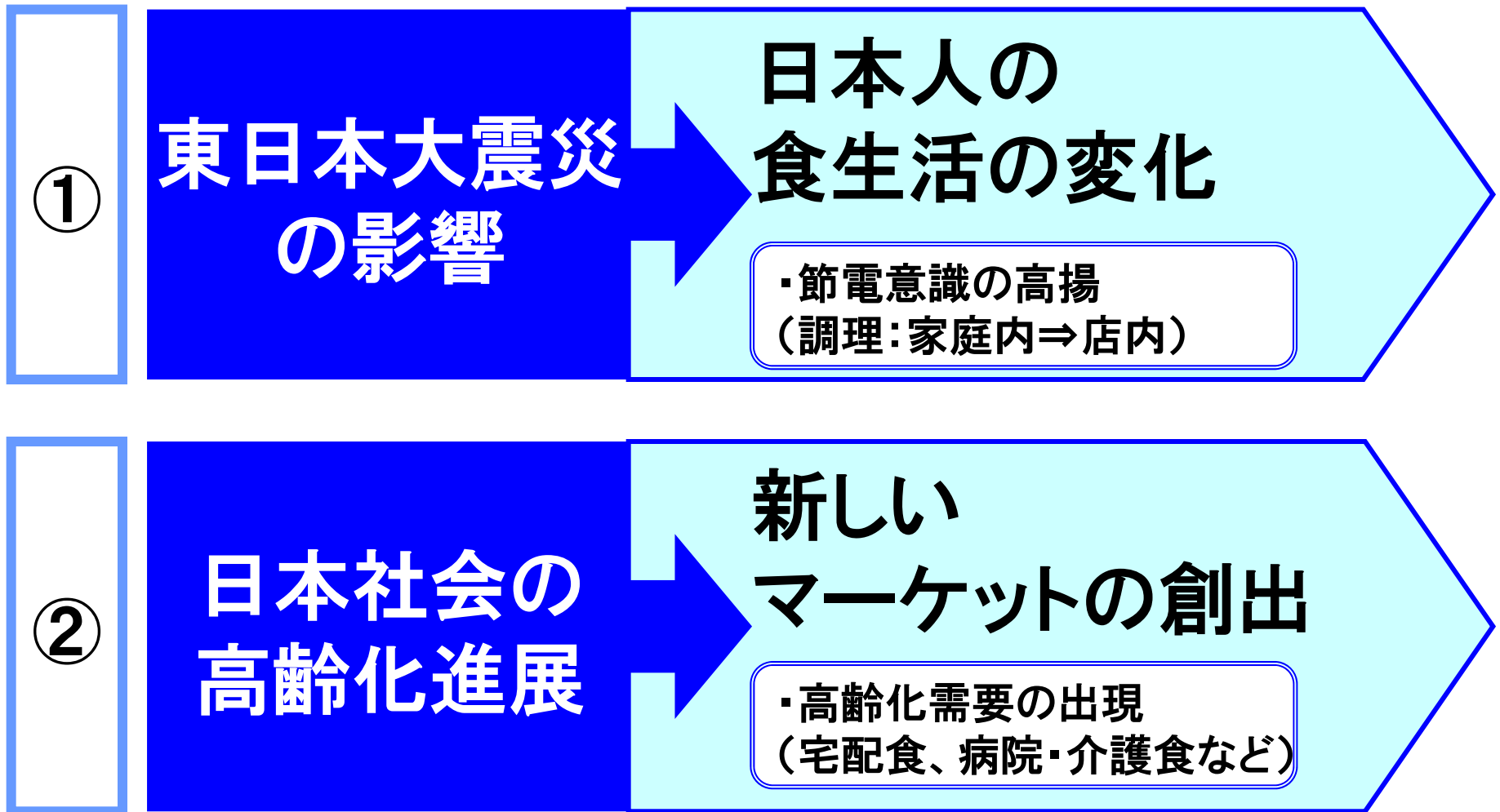
企業価値
の向上
日本:限定的
中国:無限大

中国

高い経済成長
による
市場拡大
(中間層・富裕層の拡大)

- ・食品包装市場の
急拡大
- ・食への安全意識の
高まり
- ・日系小売業の本格
進出

3. 事業環境認識(最近)



4. 中期の経営方針(日本)

事業構造改革 の推進

- ①開発⇒素材/アイテムの選択と集中
- ②生産⇒供給体制の見直しと
“ものづくり”基盤の改善
- ③営業⇒ユーザー基点の営業姿勢



量的拡大 の追及

三菱商事による公開買付け



縮小均衡型 ⇒ 拡大均衡型

5. 2012年の経営戦略(日本)

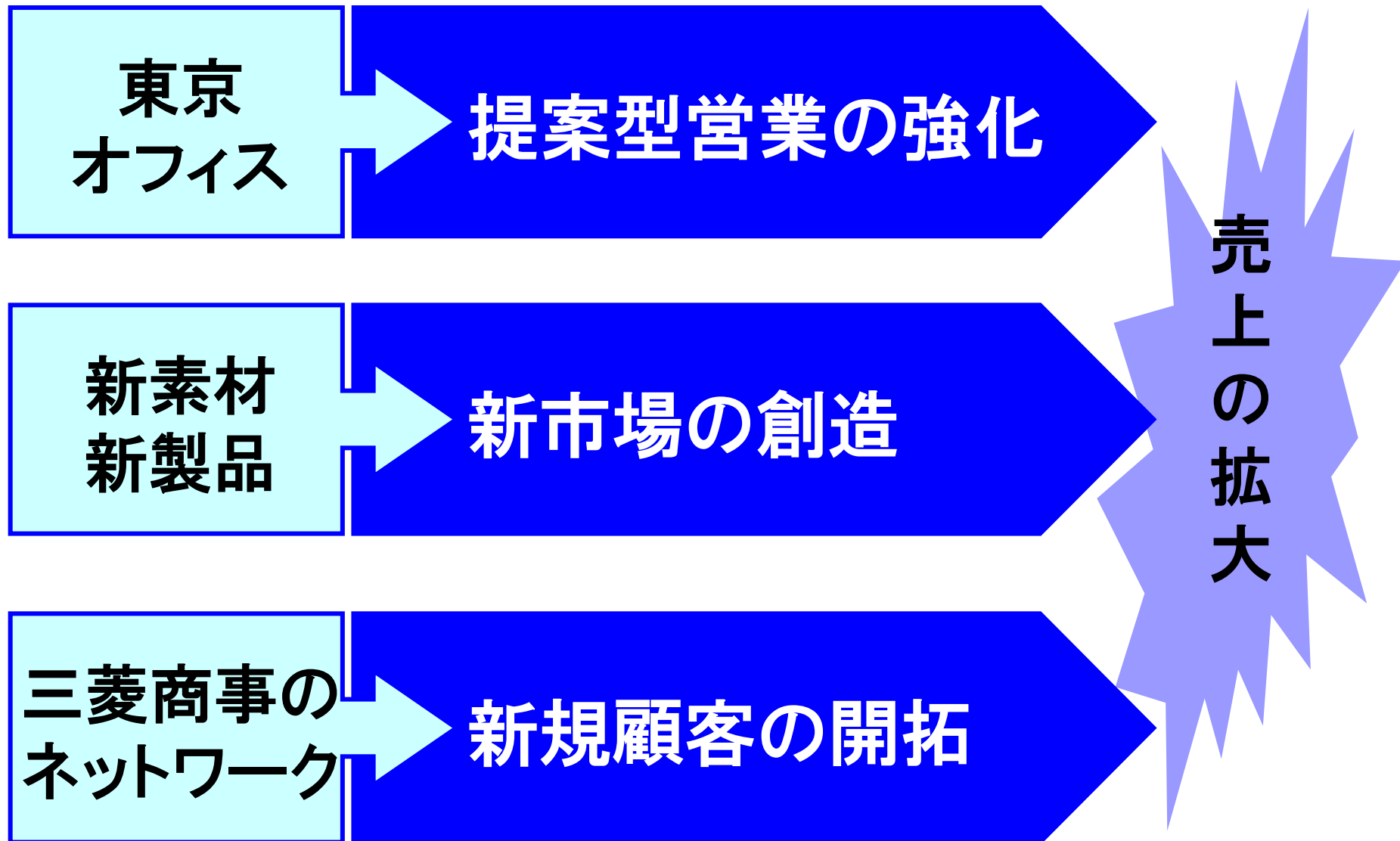
①新市場の創造と新規顧客の開拓

②売上拡大への支援体制の整備

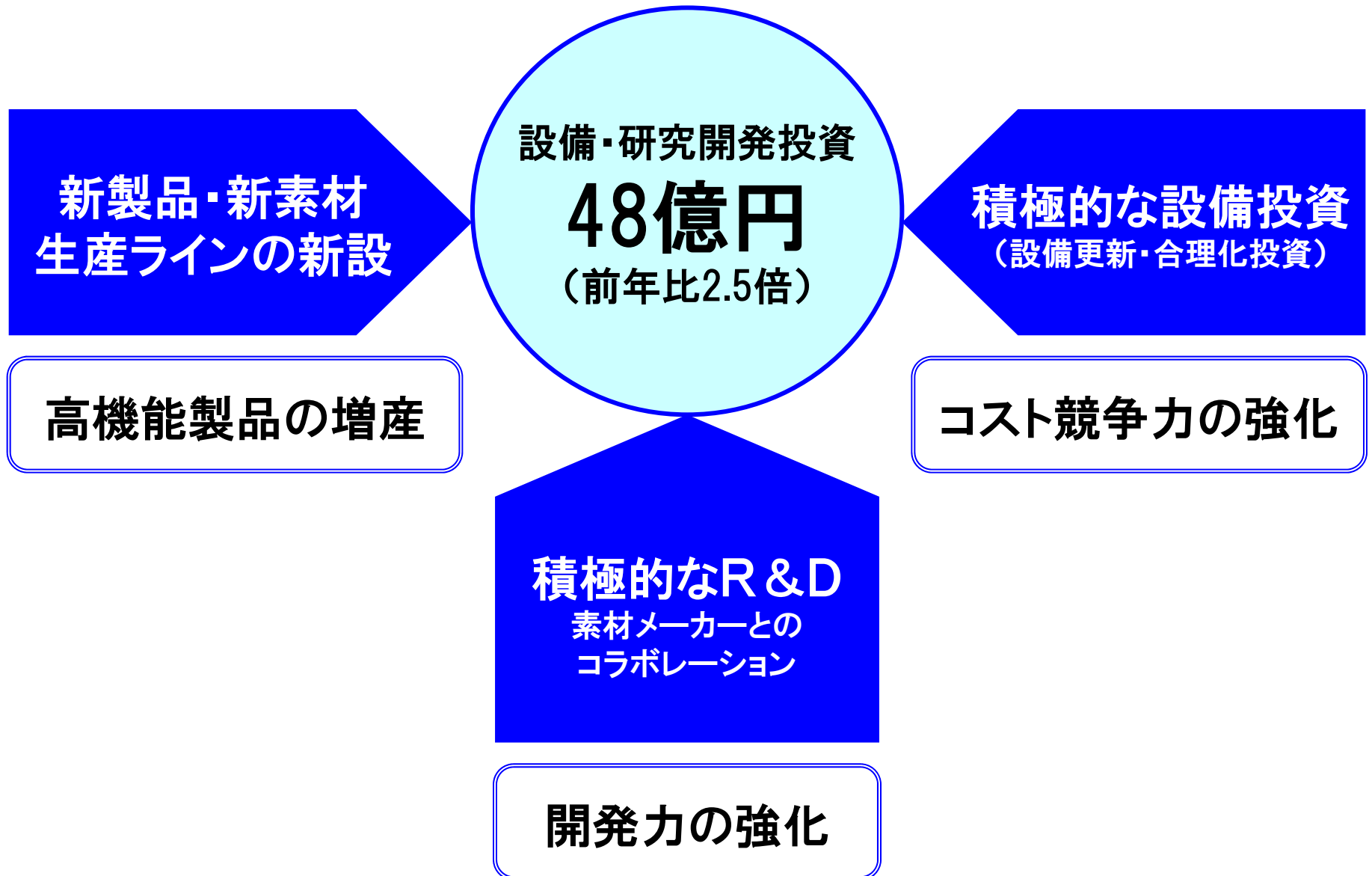
③TOBによるシナジー効果の追求

増収増益路線への転換

6. 経営施策(日本) ①新市場の創造と新規顧客の開拓



6. 経営施策(日本) ②売上拡大への支援体制の整備



6. 経営施策(日本) ③TOBによるシナジー効果の追求

中央化学の経営資源

- ・技術開発力(固有のDNA)
- ・生産拠点の充実(9工場)
- ・「中央」ブランドの商圏



三菱商事の経営資源



経営基盤の強化

7. 中期の経営方針(中国)

- 攻 略 市 場 の 明 確 化
- 供 給 体 制 の 整 備

事 業 規 模 の 拡 大

収 益 基 盤 の 整 備

拡 大 す る
市 場
へ の 対 応

8. 2012年の経営戦略(中国)

①新しい統括体制の確立

②生産供給体制の整備

③売上拡大による増収増益の追求

売上高120億円への体制固め

9. 経営施策(中国) ①新しい統括体制の確立

中国総代表に常務執行役員を派遣

統括機能を強化

```
graph TD; A[統括機能を強化] --> B[海城]; A --> C[北京]; A --> D[上海]; A --> E[無錫]; A --> F[東莞];
```

海城

北京

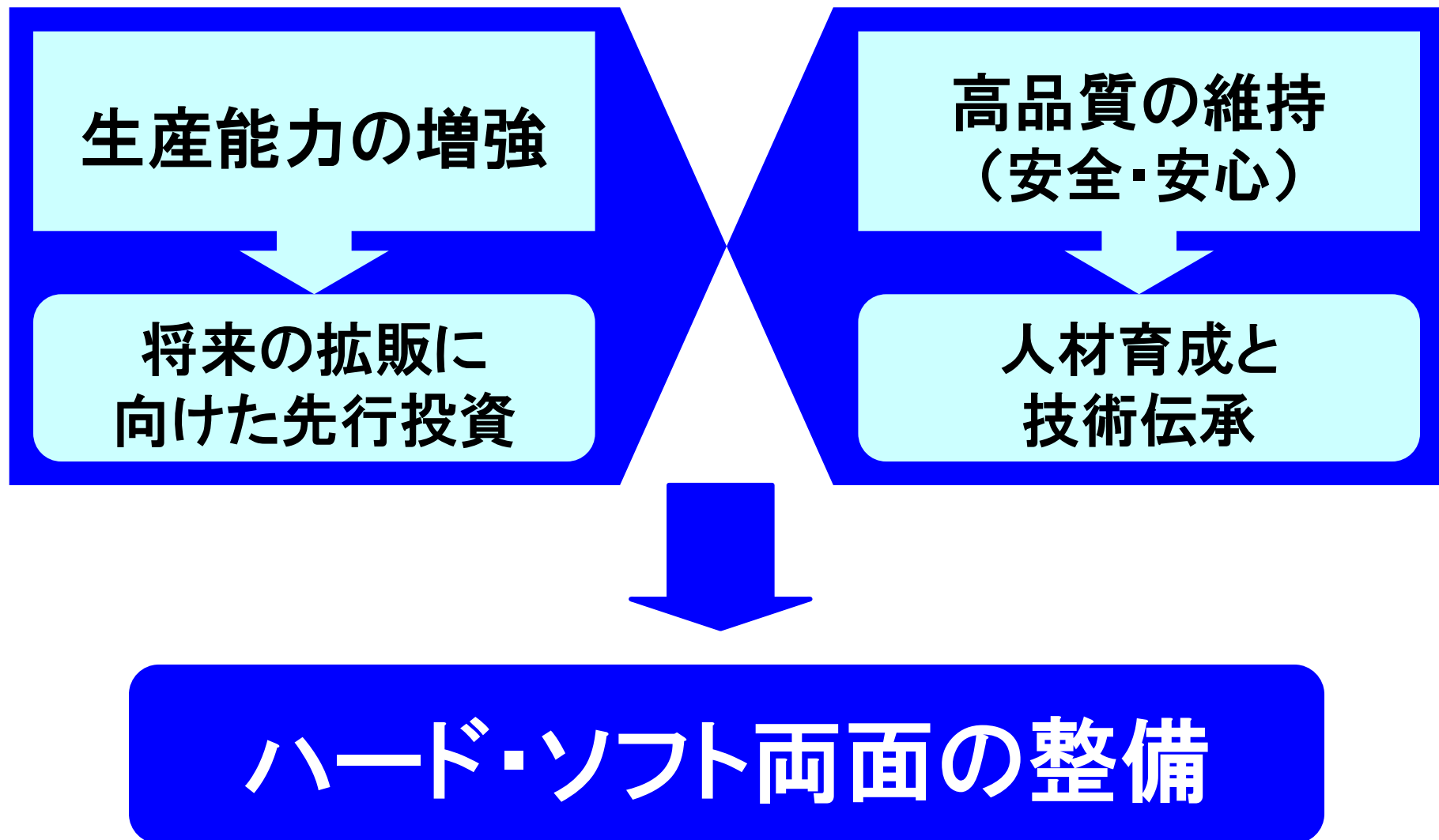
上海

無錫

東莞

効率経営による競争力強化

9. 経営施策(中国) ②生産供給体制の整備



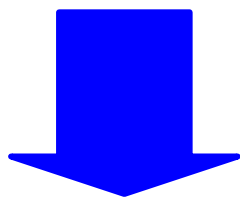
9. 経営施策(中国) ③売上拡大による増収増益の追求

中央化学の既存5拠点

+

三菱商事のグローバルネットワーク

- ・販売先の共同開拓
- ・サプライチェーンの共同構築



中間層・富裕層を対象とした拡販

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。